

電力需給の状況について

2021年1月13日

資源エネルギー庁

足下の電力需給の状況

- 厳しい寒さで電力需要が大幅に増えている一方、天候の不順により太陽光等の再エネの発電量が減少し、LNGの在庫減少によりガス火力発電の稼働が抑制されているため、全国的に電力需給は厳しい状況。

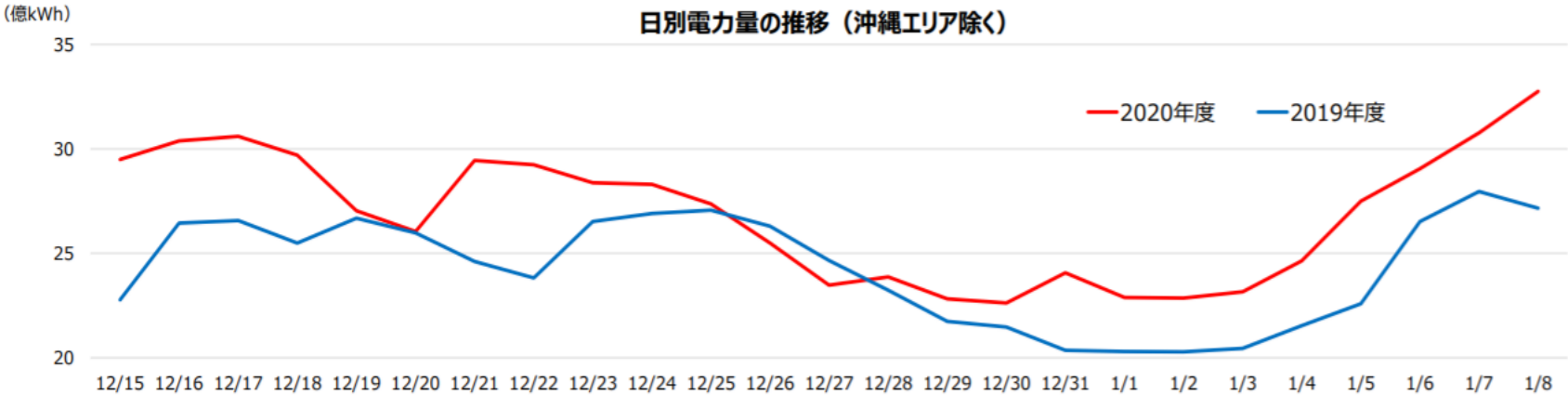
電力各社の予備率見込み（1/13[水]

※使用率ピーク時
※1/13[水]11:00時点

北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
10%	6%	11%	9%	5%	7%	6%	3%	5%	23%

全国の過去実績

□ 1月の電力需要は例年と比べ約1割増加



	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20	12/21	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8
2020年度	29.5	30.4	30.6	29.7	27.0	26.0	29.4	29.2	28.4	28.3	27.4	25.5	23.5	23.9	22.8	22.6	24.1	22.9	22.9	23.2	24.6	27.5	29.0	30.8	32.8
2019年度	22.8	26.4	26.6	25.5	26.7	26.0	24.6	23.8	26.5	26.9	27.1	26.3	24.7	23.2	21.7	21.5	20.4	20.3	20.3	20.4	21.5	22.6	26.5	28.0	27.2

※電気事業連合会HPより引用

電力需要実績 2021年1月：日別最大電力（kW）と電力量（kWh）

2		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄	全国
厳寒想定	[万kW]	541	1,455	5,298	2,353	530	2,555	1,097	504	1,567	116	16,016
1/6 (水)	[万kW]	494	1,353	4,663	2,116	465	2,187	949	433	1,421	93	13,964
	[億kWh]	1.12	2.92	9.43	4.21	1.01	4.54	2.02	0.90	2.90	0.19	29.24
1/7 (木)	[万kW]	528	1,352	4,587	2,269	505	2,482	1,093	497	1,606	107	14,889
	[億kWh]	1.17	2.97	9.41	4.60	1.10	4.99	2.27	1.00	3.25	0.21	30.98
1/8 (金)	[万kW]	522	1,480	4,815	2,409	534	2,561	1,124	507	1,595	112	15,605
	[億kWh]	1.18	3.22	10.02	4.93	1.16	5.36	2.40	1.07	3.41	0.23	32.98
1/9 (土)	[万kW]	499	1,345	4,422	1,978	461	2,304	1,023	469	1,469	116	13,971
	[億kWh]	1.10	3.03	9.25	4.26	1.05	4.91	2.22	0.99	3.16	0.24	30.21
1/10 (日)	[万kW]	489	1,300	4,303	1,783	426	2,101	935	422	1,379	103	13,192
	[億kWh]	1.07	2.86	8.77	3.79	0.94	4.44	2.02	0.89	2.91	0.21	27.90
1/11 (月)	[万kW]	490	1,308	4,649	2,107	418	2,206	977	423	1,370	98	13,996
	[億kWh]	1.10	2.87	9.47	4.37	0.94	4.57	2.06	0.90	2.88	0.21	29.36
1/12 (火)	[万kW]	512	1,414	5,094	2,356	468	2,594	1,072	496	1,439	110	15,519
	[億kWh]	1.12	3.02	10.35	4.80	1.02	5.12	2.16	0.99	3.03	2.21	31.85

安定供給確保のための電力会社・電力広域機関の取組

- 強烈な寒波の中、安定供給確保に万全を期すため、電力会社や電力広域機関と連携しながら、必要な電力の供給確保に全力で取り組んでいる。

対応状況

- 各電力会社において、日ごろ稼動していない老朽火力も含め、あらゆる発電所をフル稼働
- 燃料在庫が少なくなっている電力会社に余剰在庫を融通するよう、経産省からガス会社に要請
- 電力広域機関から全国の発電事業者に対し、発電設備の最大出力運転を指示
- 需給状況の厳しい電力会社に電力を融通するよう、電力広域機関が全国の電力会社に指示
- 電気事業連合会・電力会社や電力広域機関のHPにおいて、できるかぎり電気の効率的な使用に努めていただくよう協力依頼

【参考】電力会社における「効率的な電気の使用」のお願い

＜電気事業連合会ホームページ：「電力の需給状況と節電へのご協力のお願いについて」＞

昨年 12 月下旬以降、全国的に厳しい寒さが続いており、例年に比べ、電力需要が大幅に増加しております。1 月 8 日には、西日本を中心に全国 7 エリアで最大需要が 10 年に 1 度程度と想定される規模を上回りました。一方、供給面では、悪天候により太陽光発電等の発電量が低下する日も少なくありません。

こうした中で、電力各社においては、日ごろ稼働していない高経年化火力を含めたあらゆる発電所をフル稼働させるなど、供給力の確保に全力を尽くすとともに、電力広域的運営推進機関と連携しながら需給ひっ迫エリアへの広域的な電力の融通を行い、現段階では安定供給を確保しております。電気事業連合会においても、それらの取り組みに対する支援を行うなど、安定供給の確保に最大限の対策を講じているところです。

しかしながら、天候不順や厳しい寒さは今後も続くことが予想され、太陽光発電からの発電量も多くは見込めない状況です。また、高経年化火力発電所の稼働に伴いトラブルが発生するリスクや、火力発電の発電量の増加に伴い発電用燃料の在庫が少なくなるリスクが高まっている状況です。特に 3 連休明けの 12 日は全国的に悪天候が見込まれており、電力需給がさらに悪化する可能性があります。

お客さまをはじめ、広く社会の皆さまには大変ご迷惑とご心配をお掛けし、誠に申し訳ありませんが、寒波の中での暖房等のご利用はこれまで通り継続していただきながら、日常生活に支障のない範囲で、照明やその他電気機器のご使用を控えるなど、電気の効率的な使用にご協力いただきますようお願いいたします。

＜東京電力ホームページ：「でんき予報」＞

引き続き、大変ご迷惑とご心配をお掛けし誠に申し訳ありませんが、寒波の中での暖房などのご使用はこれまで通り継続いただきながら、日常生活に支障のない範囲で、照明やその他電気機器のご使用を控えるなど電気の効率的な使用にご協力いただきますようお願いいたします。

【参考】電力広域機関・経済産業大臣からの「効率的な電気の使用」のお願い

<電力広域機関 HP>

今冬の電力需給ひっ迫時の広域機関の対応

2020年12月から寒冷な気候条件が続いたことなどにより、全国的に需給バランスを保つ調整力電源の供給力不足が継続的に発生しております。

当機関は、電気の安定供給確保に万全を期すため、業務規程第175条の規定に基づき、2021年1月6日に非常災害対応本部を立ち上げ、業務規程に基づき、以下の対応を行っております。

電気事業者、自家用発電設備をお持ちの皆様におかれましては、電気の安定供給確保のため、それぞれの責務を果たしつつ、相互に協調していただくようお願いいたします。

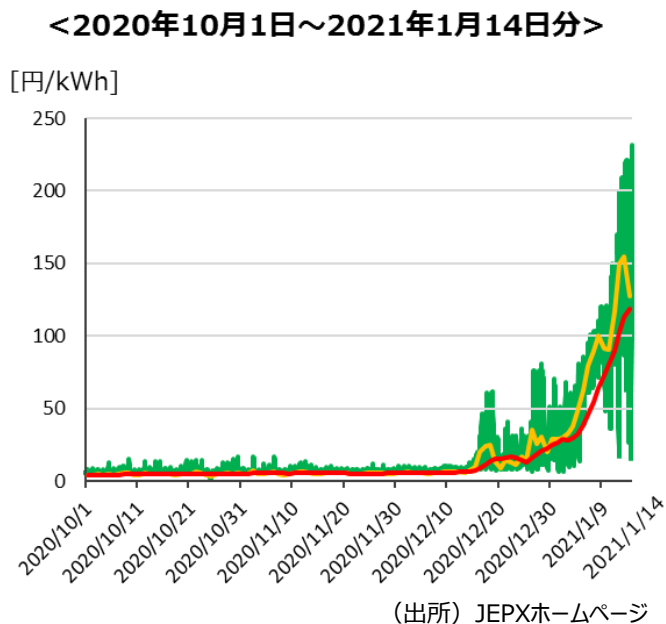
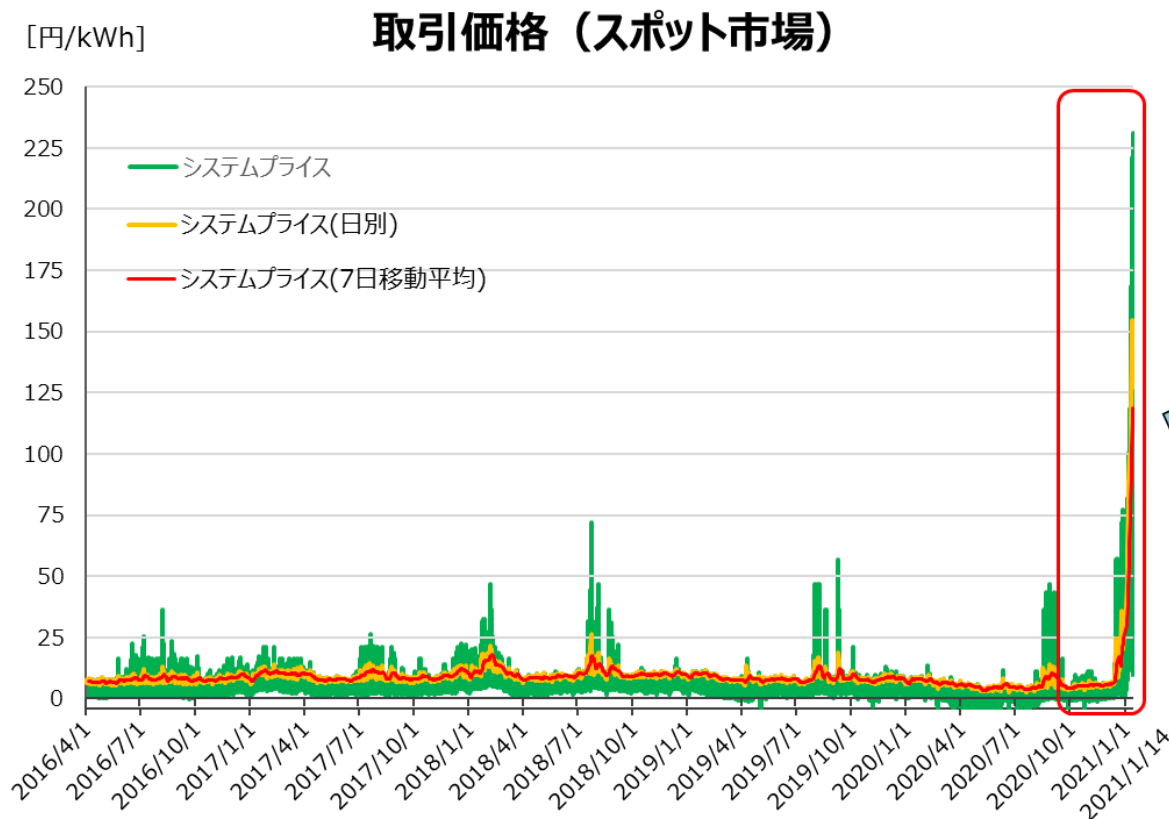
ご家庭、工場・オフィスなど電気の利用者の皆様におかれましては、こうした状況をご理解いただき、できるかぎり電気の効率的な使用に努めていただきますようお願いいたします。

<1/12(火) 梶山経済産業大臣閣議後会見（抜粋）>

- 厳しい寒さによりまして電力需要が例年に比べて大幅に増えていること、一方で天候の不順により太陽光等の再生エネの発電量が低下をし、L N Gの在庫も減少していることを受けて、全国的に電力需給が厳しい状況が続いております。
- 現在、各電力会社において、老朽火力も含めたあらゆる発電所の活用や自家発電からの電力調達、更に電力広域機関を通じた地域間での機動的な電力融通等に取り組み、安定供給の確保に努めていただいています。
- 厳しい寒さが続き、足下の電力需給が逼迫している中において、皆様におかれましても、暖房の利用など普段どおりの生活を続けていただきつつ、電気の効率的な使用を続けていただきたいと思います。
- 政府としても、電力の安定供給に最大限努めてまいります。

足下のスポット価格の高騰とその要因

- 12月下旬以降、スポット市場価格が高騰しており、**1月以降は200円/kWhを超える価格を付ける時間帯も発生**。その多くにおいて、「売り札切れ」により買い入札価格が市場価格となっている。
- この背景には、**寒さによる電力需要の増加**や、**悪天候による太陽光発電等の発電量の低下**、**燃料制約**等が考えられる。



	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度(～1/14)
平均価格 (円/kWh)	8.5	9.7	9.8	7.9	10.2
最高価格 (円/kWh)	40.0	50.0	75.0	60.0	232.2
200円/kWh以上の時間帯	0	0	0	0	52
(参考)0.01円/kWhの時間帯※	0	0	0	22	224

※近年、再エネ導入量の増加を背景に、0.01円/kWhとなる時間帯も増加。6